

FRP防水のトップコート塗り替え用

カナエ水性FRPトップ遮熱

カナエ水性FRPトップ遮熱はFRP防水のトップコートを塗り替える際に使用する一液の水性カラートップコートです。

施工する際は、旧FRP防水層及び旧トップコート層の表面を高圧洗浄等で水洗いし、乾燥させた後直接塗布する事が可能です。旧FRP防水層の表面を研磨及びアセトン拭きする必要はありません。

また、成分としてポリエステルとアクリルをハイブリッドさせた特殊樹脂を配合しており、通常のアクリル系樹脂と比較して、ポリエステル系の基材と密着性や耐久性、耐水強度が優れます。

形成される皮膜は、特殊フィラーの働きにより、太陽光中の近赤外線領域の反射率が一般塗料より高く、夏場における環境温度の上昇を抑える効果があります。

【 主 用 途 】

- FRP防水のトップコートの塗り替え

【 特 長 】

- 旧FRP防水層の表面を研磨及びアセトン拭きを行う必要がありません。
- 一液の水性トップコートである為、施工し易く、環境にも優しい製品です。
- 夏場における環境温度の上昇を抑える効果があります。



【 性 状 】

外 観	淡灰色粘稠液
粘 度 (mPa・s) at23°C	3000~10000
不揮発分 (%)	58±2
比 重 at23°C	1.20±0.05
色	ライトグレー

【 密 着 性 】 JIS K 5600-5-6 準拠 分類0~5 (0が最も優れる)

	カナエ水性FRP トップ遮熱	カナエ水性FRP トップ(骨抜き, 骨入り)	汎用水性トップコート
2mm角	分類0 (100/100)	分類0 (100/100)	分類5 (0/100)
1mm角	分類0 (100/100)	分類0 (100/100)	分類5 (0/100)

汎用ポリエステル系トップコート(他社品・スチレンタイプ)施工後、23°C中で3日間養生後、表面研磨及び溶剤拭きを行わずに各水性トップコートを wet 0.2kg/m² 塗布。

23°C中で3日間養生した後、

塗膜表面からカッターで所定の幅で切り込みをいれ、密着性確認試験を行った。

【 汎用ポリエステル系トップコートとの比較 】

	カナエ水性 FRPトップ遮熱	汎用ポリエステル系 トップコート	汎用水性 トップコート
作業の容易さ	○	△	○
FRP 防水材に対する密着性	○	○	×
環境に対する配慮	○	×	○
耐候性	○	△	○

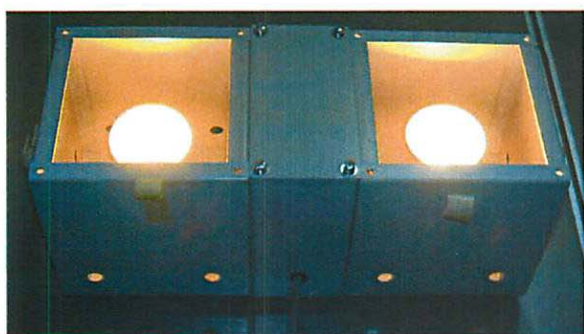


【遮熱性能確認試験】

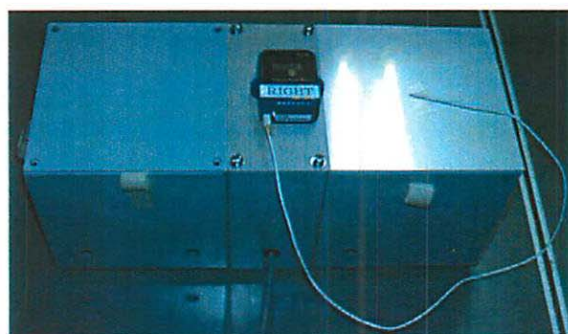
○ 試験方法

塗料をアルミ板上に所定の量を塗布・乾燥後、確認試験機に設置し、塗装面にランプを照射し、経時で非塗装面（背面）の温度測定を行った。

○ 試験装置

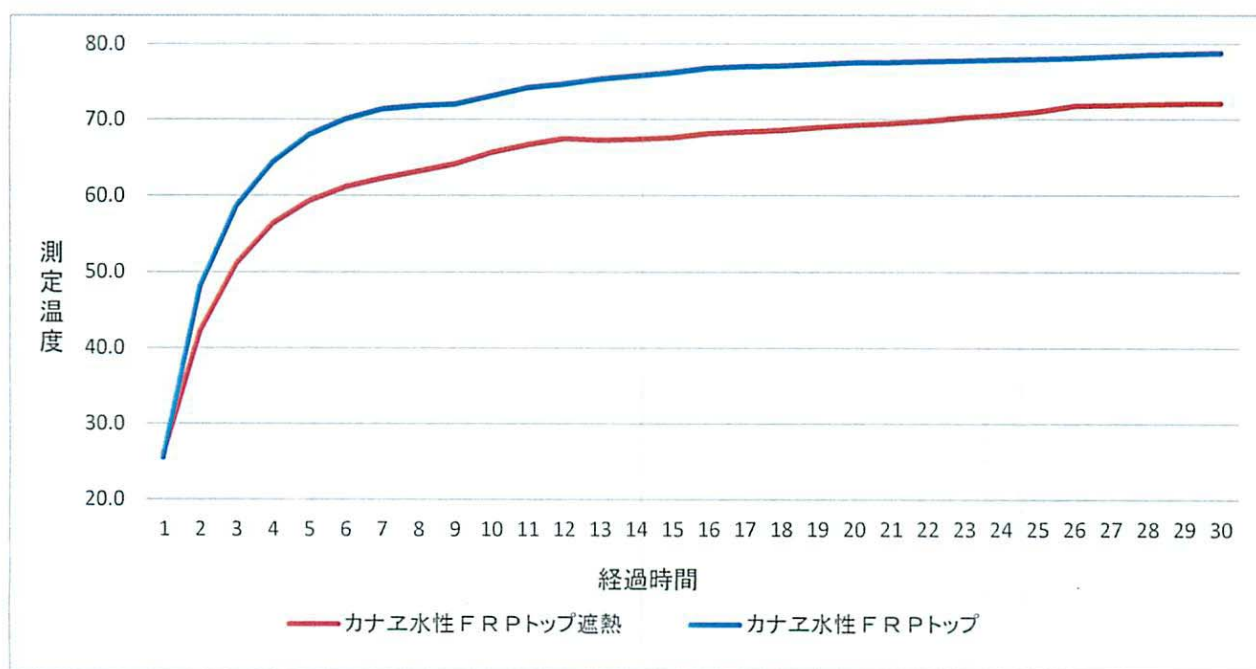


試験装置内部



温度測定時

○ 試験結果 (wet 0.2kg/m² × 2回塗り)



【使用上の注意】

- 十分に攪拌してご使用下さい。
- 5℃以下では使用できませんのでご注意下さい。
- 塗布時に使用した器具は、すぐに水洗いして下さい。乾燥後の塗膜は非常に取れ難くなります。
(器具の洗浄水等本製品を含んだ水並びに本製品は条例等関連法規に従って廃棄して下さい。)
- 塗布後、十分に乾燥するまでは足の踏み入れなどを避けて下さい。
- 直射日光を避け、冷暗所(5℃~40℃)に保管して下さい。

【標準塗布量】

0.2kg/m² × 2回塗り

【荷姿】

15kg入り石油缶
3kg入りポリ容器

【色】

ライトグレー



(本紙記載の数値は全て代表値であり、製品の性状並びに性能を保証するものではありません)

ここに記載しました技術資料及び標準処方例等は、当社において十分試験・研究したもので信頼しえるものであると考えますが、材料並びに使用条件等によりかなり相違する場合があります。従って需要各位でご試験・ご検討の上使用下さいますようお願いいたします。

実際の使用にあたってはSDS(安全データシート)等を参照の上安全にお使いください。
また本文記載の用途は、いかなる特許にも抵触しないことを保証するものではありません。

2015.7

